

1. 科目名 (単位数)	社会福祉入門 (2単位)	3. 科目番号	GEBS1101
2. 授業担当教員	安齋 多香子		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	近年急速に進展する少子高齢化など社会構造の変化に伴い、わが国はますます福祉重視型の社会をめざしている。本科目では、こうした社会の中で必要な社会福祉とは何か、また様々な福祉領域に必要な知識や実践方法にはどのようなものがあるのかなどについて、基本的な学びを深める。さらにこれまでの福祉理念の変遷を概観し、急速に変化していく現代社会にあって、これからの福祉のあり方についても考察する。		
8. 学習目標	1. 社会福祉とは何か、なぜ学ぶのかについて理解し、考察することができる。 2. 様々な領域の状況(問題や政策、制度、サービス等)について理解し、考察することができる。 3. 各自の国の状況も踏まえ、今後の課題やあり方について考察することができる。		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	アサイメントは講義の中で指示する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】東京福祉大学編『レポート・試験はこう書く 新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房 【参考書】必要な参考書等は講義の中で指示する。また、必要に応じて、プリント等補助教材を配布する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の基準 1. 社会福祉とは何か、なぜ学ぶのかについて理解し、考察することができるか。 2. 様々な領域の状況(問題や政策、制度、サービス等)について理解し、考察することができるか。 3. 各自の国や地域の状況比較も踏まえ、今後の課題やあり方について考察することができるか。 ○評定の方法 1. 授業への積極的参加(提出物等含む) 30% 2. 課題レポート 30% 3. 期末試験 40%		
12. 受講生へのメッセージ	本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。 1. 授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を求める。 2. 自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。 3. 欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。授業中に指名されて返事がない場合は、欠席となることがあるので注意すること。 4. 明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であってもF評価になるので注意すること。 5. 授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。オンラインで出席する時はWEBカメラをONにして参加すること。 教員は以下のことを実行する。 1. 授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。 2. 受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明する。 3. 一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行ったり、学生を指名して質問したりして、学生が積極的に授業に参加(発言、発表等)できるよう双方向対話型の学習環境を作る。 遅刻、早退、授業中の離席、居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。		
13. オフィスアワー	授業の前後に質問や相談を受け付けます。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業のオリエンテーション: これからの授業の内容と進行についての確認—「社会福祉」を学ぶにあたり	事前学習	生活の中で身近な「社会福祉」に関することのメモを作る。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第2回	「社会福祉」とは?: 社会福祉の理念・目標について	事前学習	テキスト p131、1~3段落を熟読し、不明な点を明らかにしておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第3回	「社会福祉」とは?: 社会福祉の対象・主体および目的について	事前学習	テキスト p6 を熟読し、不明な点を明らかにしておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる。
第4回	「社会福祉」とは?: 「ノーマライゼーション」について考える	事前学習	テキスト p55 を熟読し、不明な点を明らかにしておく。
		事後学習	授業で学んだ内容を確認しノートにまとめる。
第5回	社会保障の概要①: 社会保障の役割と機能	事前学習	テキスト p84~87 を参考にして、社会保障の役割・機能について調べてくる
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる

第6回	社会保障の概要②：社会保障の制度	事前学習	前回学んだことを確認し、社会保障の制度について調べてくる
		事後学習	社会保障について学んだことをノートにまとめる
第7回	資料作成ーグループごとに社会福祉の目的と内容、社会保障制度について学んだことを資料にまとめる。	事前学習	これまで学んだ内容を振り返り、ノートを整理する。
		事後学習	作成した資料から、レポートにまとめる
第8回	社会福祉の対象とサービス① 子ども家庭福祉について	事前学習	テキスト p72～75 を読み、用語等を確認して置く
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる
第9回	社会福祉の対象とサービス② 高齢者福祉について	事前学習	テキスト p31～33 を読み、用語等を確認しておく
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる
第10回	社会福祉の対象とサービス③ 障がい者福祉について	事前学習	テキスト p45～47、56 を読み、用語等を確認しておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる
第11回	社会福祉の専門職とは：社会福祉に関わる専門職について知るとともに社会福祉士の専門性について理解を深める	事前学習	テキスト p13 を熟読し、社会福祉士の社会的役割について自分の考えをまとめる。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる
第12回	社会福祉の専門技術について：社会福祉士が行う相談援助についてその概要を理解する	事前学習	テキスト p138 を熟読し、支援の方法についてその体系を調べておく。
		事後学習	授業で学んだことをノートにまとめる
第13回	資料作成ーグループごとに興味ある福祉制度や福祉サービスについて学んだことを資料にまとめる	事前学習	自分の出身地域の福祉サービスについて調べ、資料作成に必要な情報を整理する。
		事後学習	発表用の資料を作成する。
第14回	グループごとに興味ある福祉制度や福祉サービスについて学んだことを発表する。	事前学習	作成した資料を見直し、グループ発表の準備をする。
		事後学習	グループ発表に対する他グループからのフィードバックについて考える。
第15回	全体的なまとめー社会福祉の今後の課題	事前学習	これまで学んだ内容を振り返り、個人レポートを作成する。
		事後学習	授業において理解が進んだ内容をまとめ、言語化できるようにする。
期末試験			